

近畿税政連

令和5年(2023年)

5月10日

第263号

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 久保直己 / 編集人 矢田善久

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050

URL=https://kinzeisei.jp/ e-mail=info@kinzeisei.jp



夫婦和合・子授けのご利益のあるうさぎ 岡崎神社(京都市左京区) 撮影:首藤 裕之(豊能支部)

■ 第1回写真コンテストのご案内	5
■ 税政連Q&A ~税政連の活動を正しく理解しよう~	8



いよいよ本年10月1日より消費税の適格請求書等保存方式、いわゆる「インボイス制度」がスタートする。税政連では、税理士会と共に元号が令和に変わる以前からインボイス制度の見直しについて税制改正要望・建議を続けてきた。その結果として『対免税事業者80%控除』『2割特例』『少額特例(1万円未満)』といわれる各規定を織り込むことを実現出来たと自負しているが、いずれも時限規定でありそれぞれ数年後には段階的に縮小や廃止される。税政連としては引き続き、インボイス制度の見直しについて声を上げ続けていきたいと考えている。

さて、10月1日のインボイス制度のスタートにあたって各事業者は経理処理を中心とした内部事務の制度設計の変更を余儀なくされることは明白である。例えば、会計ソフトの更新、取引先に対するインボイス発行事業者番号の確認作業、請求書や領収書の仕様変更…。また税理士にとっても、記帳代行業務を受任する関与先は当然のこととして、完全自計化の関与先であっても今まで以上に専門家責任や作業工数が増大することは間違いない。

インボイス制度夜明け前

とは言え、残り半年足らずとなった『インボイス制度夜明け前』のこの時期に関与先指導や事務所体制の見直しを実施し、インボイス制度を混乱なくスタートさせることも税理士の大切な使命であることを自覚して、粛々と準備してもらいたいと思う次第である。(副幹事長 長谷川隆史)

さて、10月1日のインボイス制度のスター

主張

税制改正における与党と野党

近畿税理士政治連盟 副会長 後安宏彦

令和 4 年 12 月に、与党は令和 5 年度税制改正大綱を公表した。また、政府は「令和 5 年度所得税法等の一部を改正する法律案」を本年 2 月に閣議決定し、国会に提出した。その後、3 月 28 日に参議院本会議で賛成多数により可決され成立した。



後安宏彦 副会長

1. 税制改正における与党の審査

税制改正において、与党が法案の中身を審査し、そのうえで、政府が税制改正法案を国会に提出する形態をとっている。(注) 本誌第 252 号参照

この制度は与党による法案の事前審査制と呼ばれ、その機能としては、与党議員の意見を法案に反映する機会を多くし、事前に与党内で実質的に法案を承認しておくことが国会で速やかに成立できる点にある。

2. 税制改正における野党役割

日税政は、日税連の建議項目の実現のために、野党に対しても働きかけをしている。野党の税制調査会等にも、税制改正をおこなう省庁などの担当者が呼ばれることが多く、情報収集や税理士会等の主張を伝達する役割を果たしている。具体的には下記の通りである。

(1) 税理士による国会議員後援会

税務に精通して税理士の立場を理解してくれる国会議員については、その地元税理士が「税理士による国会議員後援会」を設立し、被後援国会議員を応援するとともに、総会、国政報告会、税制改正要望陳情などを行なっている。この結果、国会議員一人ひとりが税制の問題点を理解・共有するとともに我々の意見の代弁者となることが期待される。そのために現在近畿税政連では、与党の国会議員だけではなく、3 人の野党国会議員の後援会も設立されている。

(2) 税理士制度推進議員連盟

税理士制度推進議員連盟とは、税理士の社会的地位の向上、税理士業務の改善・進歩に協力することなどを目的として設立された国会議員の集まりである。名称に若干の相違があるものの、各党に設けられている。

また、総会や勉強会が開催され、多くの国会議員が出席し、日税政、日税連から関係役員も出席し、税制改正要望や税制の問題点などを説明したうえで、意見交換をおこなう場となっている。各党と税理士会側との接点となっている。

(3) 各野党の政務調査会で次年度税制改正に対するヒアリングへの出席

それぞれの政党は、政務調査会などで関係者からヒアリング・意見交換をおこなったうえで次年度税制改正案を作成している。税理士会・税政連は出席し、税理士会の税制改正要望を説明している。

(4) 財務金融委員会等での質問

税制改正法案が国会に提出されると、同法案は衆議院財務金融委員会、参議院財政金融委員会に付託され質疑・討論・裁決をおこなう。日税政からは被後援国会議員に質問をしてもらい、問題点や解釈に幅のある事項について政府より回答を得るようにしている。(注) 本誌第 258 号参照

3. まとめ

建議書を法案として実現するには、効果的な陳情が必要不可欠であり、「それは、税制改正のプロセスを知り、陳情時にそのプロセスのどの段階にいるのかを知ることと、陳情先の組織及びその構成員並びに税制改正の課題を知ることである」(注：日税連国対委員会「効果的な陳情方法とは」参照)と述べている。さらに、野党も含めて総合的な法案成立に向けた対応が求められる。



目次	焦点	1	税政連 Q & A
	主張 税制改正における与党と野党	2	～税政連の活動を正しく理解しよう～
	原副会長のご逝去に捧げる	3	後援会への入会について
	第 20 回統一地方選挙結果	4	かんさいすずめ
	第 1 回写真コンテストのご案内	5	銀河系
	後援会ニュース	6	

原綱宗副会長のご逝去に捧げる

1月8日近畿税理士政治連盟副会長の原綱宗先生がご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。原先生は、特に本連盟の総務会長として5期10年の長きに渡り総務会の運営にご尽力をいただきました。

総務会は本連盟の最終的な決議機関として、活動の方向性を決める重要な会議であります。平成28年において、会費以外の収入を求めるべきとの意見から、結果として50周年の記念募金を会員の方々に求める事になりましたが、この過程において総務会長である原先生は過去の慣例を崩すものであると反対を表明されたことを思い出します。その後、それならばと財務委員会の副会長に就任され、収納率の向上に貢献をいただいた



ことは、感謝するところであります。会務にはいつも真面目に、思慮深くかつ真剣に取り組み尊敬された原先生との突然の別れを惜しみ、真摯に叱咤激励をいただいたことにお礼を申し上げたいと思います。このように近畿税理士政治連盟並びに税理士業界の発展のために長年にわたって誠に多大なご尽力を賜り、偉大な足跡を残されました。まだまだ教えていただきたいことがあり、誠に残念でなりません。しかしながら、私どもは原先生が残された足跡を礎として、先生がこよなく愛された税理士業界の発展を目指して政治連盟として邁進してまいります。

(会長 久保直己)

近畿税理士政治連盟役員の大先輩が逝かれた。それは、1月9日一本の電話で知らされた。原先生と同じ出身大学の元信金支店長から「良いお知らせではないんですが、実は原先生がお亡くなりになりました」私は、驚きはしなかった。治療の為、入退院を繰り返し、会議が重なった時は「悪いけどな、治療で入院するし会議は任せとくわ。一週間あとやったら行けたんやけどな」との電話。その後、お会いするたびに痩せていかれた。最後にお会いしたのが、10月20日の会合である。いつも時間通りに来られるのに今回は遅刻。しかし、来賓あいさつはいつもどおりにされた。最初に原先生が亡くなったことに対し驚かなかったと記したが、実は12月10日の夜中3時に私の携帯電話に着信があった。朝、気づいたが、原先生からのお別れの電話と確信した。

原先生とは所属する支部がことなつたので、知り合ったのは近畿税政連の役員になってからだ。一昨年、税制改正の陳情のため東京へご一緒した。陳情先議員のところでは、身を乗り出して「インボイス制度は納税者や税理士にとって大変な作業を課すことになる。直ぐに延期又は廃止すべきだ」と、声を大にして訴えられた。また、会議の席で見かけたらいつも「おう」と手を挙げ気さくに声を掛けていただいた。ある時、後援会活動の活性化を図る方法を提案すると「おおそれは良いことや」と前向きに聞き意見もしていただいた。このようなことが幾度もあり、何度やる気を起こしたか計り知れない。

原先生は、伊吹文明後援会でもお世話になり、毎年3月確定申告視察後の税務署長室での会合で常に同席いただきご意見をいただいた。今年の会合で姿が無かったことで改めて寂しさを感じた。昨年8月ごろ、しばらくお会いしてなかったので、連絡をとると「今度会ったらびっくりするで」と、ご自分の頭髪のことを冗談っぽく言っておられたことが昨日のように思い出される。80歳、まだ向こうに行かれるのは早いですよ。ご冥福をお祈りします。

(副幹事長 室谷澄男)

第20回統一地方選挙 「11名の推薦候補者を決定」

第20回統一地方選挙が、都道府県・政令市は令和 5 年 4 月 9 日投開票、市町村は 4 月23日投開票により施行された。

本部では、推薦の依頼が届き次第、書面による推薦審査会を随時開催し、各支部連より報告のあった統一地方選挙の候補者について「首長選挙における推薦基準」「地方議会議員選挙における税理士会会員たる候補者の推薦条件」に基づき慎重に審議をおこない、11名の推薦を決定した。

4 月 9 日投開票分の結果は以下の通り。

(※ 4 月23日投開票分については、結果が校了日後のため、非表示)

首長選挙における推薦候補者と選挙結果

支部連	選挙名	推薦候補者	政党	告示日	投票日	当落
大阪府第 3	高槻市長	濱田 剛史	無所属	4月16日	4月23日	※

地方議会議員の推薦候補者

支部連	選挙名	推薦候補者	政党	告示日	投票日	当落	
大阪府第 1	大阪府議会議員 (交野市)	松本 直高	自民	3月31日	4月9日	落選	
大阪府第 5		(和泉市)	杉本 太平	自民	3月31日	4月9日	🗳️当選
		(泉佐野市・熊取町)	松浪 武久	維新	3月31日	4月9日	🗳️当選
兵庫県第 2	兵庫県議会議員 (加西市)	吉田 稔	維新	3月31日	4月9日	落選	
大阪府第 1	大阪市議会議員	権世 幸蔵	無所属	3月31日	4月9日	落選	
		高見 亮	維新	3月31日	4月9日	🗳️当選	
大阪府第 3	池田市議会議員	倉田 晃	無所属	4月16日	4月23日	※	
大阪府第 4	八尾市議会議員	柴谷 匡哉	無所属	4月16日	4月23日	※	
京都府	木津川市議会議員	堤 征一郎	自民	4月16日	4月23日	※	
兵庫県第 2	明石市議会議員	出雲 有希子	無所属	4月16日	4月23日	※	

衆議院和歌山県 1 区補欠選挙

衆議院和歌山 1 区補欠選挙が 4 月11日告示、4 月23日投開票により施行された。本部では、和歌山県支部連より報告のあった門博文氏の推薦を決定した。

支部連	選挙名	推薦候補者	政党	当落
和歌山県	衆議院和歌山 1 区	門 博文	自民	※

(※投開票日が校了日後のため、結果非表示)

広報委員会からのお知らせ

第1回 写真コンテスト

のご案内

さて、近畿税政連の広報活動の一環としまして『第1回写真コンテスト』を開催させて頂くことになりました。下記の要領で募集いたしますので、どうぞお気軽にご応募ください。

なお、今後のコロナ感染状況により開催を中止する場合があります。最新情報は、ホームページにて。

応募要領

応募作品 **テーマは自由**です。(機関紙「近畿税政連」の表紙にふさわしい写真)

応募期間 令和5年5月1日(月)～令和5年7月25日(火) 消印有効

応募資格 近畿税理士政治連盟会費納入者に限ります。

応募点数 **ひとり2点**まで(※入賞はひとり1点)

応募規定 ■過去に他のコンテスト等で入選、入賞の作品は応募出来ません。

■作品サイズ：六切(ワイド可)、A4、四切(ワイド可)、A3

■合成写真は不可とします。(比較明合成、比較暗合成、多重撮影、深度合成は問題ありません)。

■インクジェットプリントも可

応募方法 ■郵送でご応募ください。税政連事務局へ直接お持ちいただいても結構です。

■写真の天地が判るように、作品の裏側に“天”・“地”を記入いただき、指定の応募票に必要事項をご記入の上、作品に添えてご応募ください。

作品返送 **入賞作品以外は返却いたしません。**

審査方法 外部の審査員による審査

発表 ■機関紙(新年号)にて発表

■表彰式を令和5年9月中旬に開催

■当連盟定期大会(9月)の会場に展示予定。

■入賞作品は機関紙の表紙写真に使用いたします。

当連盟ホームページへも掲載いたします。

■機関紙・ホームページへの掲載のため**入賞作品については、後日データのご提出をお願いいたします。**

注意事項 ■ご本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りませぬ。

■公序良俗に反する作品、過度の画像補正の作品は応募出来ません。

応募票は、近畿税政連ホームページからダウンロード・印刷のうえご利用ください。



<https://kinzeisei.jp>

応募先

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

■作品は、機関紙・ホームページへの掲載等広報活動に利用させていただきます。

■お正月らしい作品の場合、日税政の機関紙「日本税政連」の新年号表紙に推薦することがあります。

後援会ニュース

とかしきなおみ後援会

1月20日、吹田市のサニーストンホテルで第15回定期大会が開催された。

来賓として、とかしきなおみ前衆議院議員、後藤圭二吹田市長、里野善徳吹田市議会議員、室谷澄男近税政副幹事長が出席した。



上西通氏幹事長の司会により開会が宣言され、平山直樹会長よりあいさつがあった。

定期大会では、令和 2、3、4 年度の 3 議案が一括上程され、全議案可決承認された。

続いて来賓の室谷副幹事長の激励の言葉があり、九鬼章泰前吹田支部長の「がしんしょうたん 臥薪嘗胆・けんどう 捲土重来」の熱演で締めた。

懇親会では里野市議のあいさつのあと、とかしき前議員が登壇し、落選して一年あまり経つが、その間にさらに強く応援していただける方もあり感謝している。最近では戸別訪問を中心に活動している。増税の問題でも国民の皆様にもっと順序だててわかりやすく説明すべきである。中央から離れてみると世の中の動きがよく見えてきた。国としての基幹産業を構築し、経済を回すことによって増税に頼らない世の中にした。吹田には北大阪健康医療都市（健都）がありこれから成長する産業は健康、医薬品、環境の分野である。高齢化社会に備え、日本こそ世界の成長分野のモデルケースとして発信していきたいとあいさつした。

(吹田支部 高木晴雄)

うえの賢一郎後援会

令和 5 年 2 月 9 日滋賀県立文化産業交流会館において、税理士によるうえの賢一郎後援会の令和 4 年度定期総会が開催された。

今年度も新型コロナウイルス感染症が治まらない状況下での開催となったが、来賓として浅山禎信議員秘書、近税政より久保直己会長、滋賀県支部連合会 織戸英信会長を来賓に迎え、会員 18 名の出席のもと開催された。



藤居幹事長の司会進行により、野坂会長の開会のあいさつから始まり、第 1 号議案から第 4 号議案まで慎重審議の結果、すべて可決承認された。事業報告において、令和 4 年は、後援会設立当初から会長を務められた本城善男会長が任期満了により退任され、野坂喜則会員が新会長に就任されたこと、令和 4 年 11 月には、3 年ぶりにうえの賢一郎議員をお招きし国政報告会が開催されたことなどが報告された。

総会終了後において、議員秘書と意見交換の場が設けられた。次の総選挙において税理士によるうえの賢一郎後援会としての応援体制の構築についてなど、忌憚ない意見交換がされた。今後も国政報告会を開催して、コロナ禍においても、後援会活動を最低限開催していくことを約束して、散会となった。

(後援会寄稿)

北側一雄後援会 新春談話会

開催日 令和5年2月10日

場 所 南海グリル東店(堺市)

来 賓 北側 一雄 衆議院議員

久保 直己 近税政会長

田 達満 近税政幹事長

今般の新春談話会については、新型コロナウイルス感染症の関係で3年ぶりに開催された。

司会の古淵孝仁幹事長が開会を宣し、竹内芳彦会長は北側議員にこれまで同様の支援をしていきたい旨を述べた。来賓の紹介に続いて、久



保近税政会長からインボイス制度導入に伴う消費税免税事業者の今後の対応についての自民党税調に提出されたアンケート結果の披露を含むあいさつがあった。

北側議員からは令和5年度税制改正大綱の概要について次のような説明があった。

- ・ NISAの抜本的拡充と恒久化
- ・ 資産移転の時期の選択により中立的な税制の構築として、相続時精算課税制度及び相続開始贈与の加算期間の見直し
- ・ 贈与税の非課税措置の期間延長
- ・ インボイス制度の導入にあたり、登録申請手続きの柔軟化、小規模事業者に対する納税額に係る負担軽減措置、少額な返還インボイスの交付義務の見直し
- ・ 防衛力強化と財源について、中小企業に対しては負担とならない制度の構築

北側議員の国政報告の後、田近税政幹事長の乾杯の発声により懇親会が開催された。

(堺支部 大谷富太郎)

令和5年度会費 口座振替申込受付中！

近畿税政連では、口座振替による会費納入を推進しています。自動で口座より引き落としされ、納付書を持って郵便局やコンビニに行く手間が省けます。また、振込などによる振込手数料のご負担も必要ありません。この機会にぜひお申込みください。

現在、(次年度分の)令和5年度会費(令和5年7月～令和6年6月)分の口座振替による会費納入の申込を受付しております。

↓お申し込みはこちらより



団体コード:0936201

従来の申込用紙での申し込みを希望される場合は、

近畿税政連事務局(TEL:06-6944-9040)までご連絡ください。

申込書を郵送させていただきます。

※事務処理の関係上、6月10日(必着)までにお申し込みが必要です。

※政治資金規正法により、法人口座は指定できません。

[近畿税政連規約第6条]近畿税理士会に入会している税理士会員は、その資格において会員となる。

用紙記入不要！上記QRコードから申込可能！

税政連 Q & A

～税政連の活動を正しく理解しよう～

税政連の必要性

Q. 税政連はどうして必要なのでしょう？

A. 税理士会は税理士法により建議権が認められています。この建議権に基づいて税理士会は税制改正などの要望を行います。しかし、税理士会は税理士法に基づく強制加入の特別法人であり、政治活動を行うには制限があります。そこで、税理士会に代わり、その活動を行っているのが税政連です。あわせて、税政連は「税理士の社会的地位の向上」により税理士制度の発展をめざして活動を行っている団体です。

政治活動ではなく陳情活動

Q. どうして、陳情活動が必要なのでしょう？

A. 税制改正や税理士法改正など、法律は国会において審議され、立法化されます。そのため、税理士会の意見が法律に取り入れられ、より良い制度にするためには、国会で法律改正をしている国会議員や政党に対して陳情活動を行わなければなりません。よって、税政連は税理士制度や税理士の権益に関係のない一般的な政治的主義や主張を実現しようとする政治団体ではありません。税理士制度や税理士の権益に関連する問題について、いわば“税理士党”の立場から政治活動を通じて解決を図ろうとする団体です。

税理士の要望を伝えるために

Q. 税政連の主な活動はどんなことですか？

A. 税政連の活動は、税理士会の方針を踏まえて、政党や国会議員等に働きかけを行うことです。これらの効果を高めるために国会議員等の選挙において推薦候補者を決定し、その選挙の支援活動を行うことも重要な施策の一つです。

また、「税理士による国会議員等後援会」を結成し、当連盟の目的達成のために国会議員等と常日頃から接触し、国会の情勢や生の政治の動き等の情報を得ると同時に、われわれの要望を十分伝えて理解を得る活動を行っております。

税政連活動の成果

【税理士制度と職域に関する成果】

- ・ 地方公共団体の外部監査人制度の担い手として、税理士が明記された
- ・ 税理士法人制度の創設、税務訴訟に関し裁判所において補佐人となる制度の創設
- ・ 現物出資の際の検査役の証明に変えて、その証明が出来るようになった
- ・ 登録政治資金監査人の資格者として税理士が明記された
- ・ 経済産業省の認定支援機関制度の担い手として、税理士が明記された 等

【税理士法改正に関する成果】

- ・ 税理士の業務の ICT 化推進の明確化 (令和 4 年改正)
- ・ 公認会計士に係る資格付与の見直し (平成 26 年改正)
- ・ 税務訴訟に関し、裁判所において補佐人となる制度の創設 (平成 13 年改正)

税政連は「税理士の社会的地位の向上」・「税理士制度の発展」をめざして活動している税理士会 (税理士) の要望を実現するための組織です

後援会へのご入会について

本連盟の活動の一つの主軸である後援会活動について、税理士による国会議員等の後援会設立を促進するとともに後援会の育成と活動の拡充強化に向けて、各後援会への入会勧奨をおこなっております。

税理士による後援会は、後援議員を国政に送り出すだけでなく、公正な税制の確立とよりよい税理士制度の発展に向けて、議員に直接働きかけをおこなうなど、税政連活動の根幹として大きな役割を担っています。

会員の方々に関係のある選挙区など、ご興味のある後援会がございましたら、下記にご記入の上、近畿税政連事務局（FAX：06-6944-9040）までご返送ください。

ご返送いただきましたら、事務局より後援会へ転送し、おって、後援会よりご連絡いたします。

◆入会を検討中の後援会（「記入欄」に○印をお付けください。）

記入欄	後援会名	政党	選挙区	記入欄	後援会名	政党	選挙区
	大西 宏 幸	自民	大阪1区		小林 茂 樹	自民	奈良1区
	左藤 章	自民	大阪2区		高市 早 苗	自民	奈良2区
	中山 泰 秀	自民	大阪4区		田野 瀬 太 道	自民	奈良3区
	とかしきなおみ	自民	大阪7区		奥野 信 亮	自民	比例近畿
	原田 憲 治	自民	大阪9区		石田 真 敏	自民	和歌山2区
	佐藤 ゆ かり	自民	大阪11区		二階 俊 博	自民	和歌山3区
	宗 清 皇 一	自民	大阪13区		大岡 敏 孝	自民	滋賀1区
	北側 一 雄	公明	大阪16区		うえの賢一郎	自民	滋賀2区
	勝目 康	自民	京都1区		武村 展 英	自民	滋賀3区
	前原 誠 司	国民	京都2区		松川 る い	自民	参議員大阪
	泉 健 太	立憲	京都3区		西田 昌 司	自民	参議院京都
	田中 英 之	自民	京都4区		福山 哲 郎	立憲	参議院京都
	本田 太 郎	自民	京都5区		末松 信 介	自民	参議員兵庫
	盛山 正 仁	自民	兵庫1区		伊藤 孝 江	公明	参議員兵庫
	関 芳 弘	自民	兵庫3区		堀井 巖	自民	参議院奈良
	大串 正 樹	自民	兵庫6区		世耕 弘 成	自民	参議院和歌山
	西村 康 稔	自民	兵庫9区		鶴保 庸 介	自民	参議院和歌山
	渡海 紀 三 朗	自民	兵庫10区		こやり 隆 史	自民	参議院滋賀
	松本 剛 明	自民	兵庫11区		尾立 源 幸	自民	参議院比例
	山口 壯	自民	兵庫12区				

※解散予定の後援会などは表示してありません。

◆入会関係書類送付先：〒 _____

◆電話番号： _____

◆税理士登録番号： _____

◆氏名： _____

税理士制度発展募金(令和 4 年度) ご協力に感謝いたします

令和 5 年 4 月 10 日までに、以下の 578 人の
会員先生方にご協力いただきました。厚
く御礼申し上げます。

- 【東支部】** 相間 宏章 在本 茂 井川 淳志 池上 義孝 池原 保三 泉 洋平 植木 心一 梅崎 道夫 梅津 善一 大西 紀子 大西 英樹 岡本 忍 加地 郁雄 加藤 正親 金井 博基 金子 秀哲 金村 聡彦 河嶋 達 川城 明彦 北川 茂彦 北田 全基 北野 慎二 北村 哲郎 衣目 修三 佐野 八朗 鈴木 基之 関根 素子 田中 淳 田中 学 田村 守 中瀬 守 中瀬 涉 藤田 義則 藤原 智 本田 善智 前田 正雄 榎家 小鈴 松岡 大藏 松原 博吉 松本 常裕 三谷 智 森下巳代治 森下 芳一 山本 晶一 矢本 博三 吉田 正樹 和田 勝弘 渡邊 清治
- 【西支部】** 柏木 英樹 龜山 勝幸 河合 保憲 河合由紀子 杉田 宗久 田中 慎二 田中 洋子 谷口喜久雄 田 雄一郎 西関 善次 松井ひとみ 吉栖 照美 吉村 政勝
- 【港支部】** 井神 一也 岡 訓範
- 【南支部】** 上野 和雄 奥田 順 北村 慶和 木原美津恵 酒田 容哲 窪川 淳 杉本 和裕 竹田 三徳 壺見 晴彦 宮口耕一郎 室田 一榮 吉田 太三 若林日出紀
- 【浪速支部】** 天野 利彦 岩橋 一好 内海 清次 榮村 聡二 篠田 格 原 仁司 檜垣 卓仁 南 順治 森 英雄
- 【北支部】** 大橋 生佳 勝部 秀人 加用 俊栄 川崎 哲之 木原 義和 久保 良介 小山 和人 茂木 大輔 重満 将士 柴崎 光徳 下山隆一郎 高田 秀子 瀧本龍太郎 玉城 祥啓 辻村登志子 中瀬 進一 那須 弘敬 西川 栄治 後田 吉昭 堀 三芳 松本 圭一 森本 匡昭 矢野 文和 吉田 紀夫
- 【福島支部】** 今崎 民治 小野郁三朗 小泉 都二 松下 誠志 山神 清二
- 【大淀支部】** 池辺 健一 井津井一弘 今中 徳治 今中 康友 大久保明信 小山田 明
- 【天王寺支部】** 菅原 正治 浅田 恒博 石原 健次 今井 基剛 上西左大信 内田 伸男 片山 雅博 久木田宣昭 坂口 明久 菅原 宏平 武友 良直 田部 純一 中尾 隆彦 細田 宗嗣 美甘 博義 安川 里誉 山田 雅成 山本 敬三 脇阪 説男 渡邊 昇
- 【淀川支部】** 仲田むつみ 松島萬三孝
- 【東淀川支部】** 金子 重二 神谷 雅信 神吉 康史 土井 勲 永田 順久 中村 靖弘 松岡 政男 三好 英明 村瀬 義雄 森下 政彦 山本多通男
- 【旭支部】** 赤澤 匡彦 天野香鶴子 上田 初幸 上村 京勲 大久保一成 上保 博 白木 雅夫 世古 建一 高田 裕久 中川 正治 新田 博之 見浪 一敏 宮下 公司 山本 清一
- 【東城支部】** 池之本和哉 尾崎 浩文 河田 秀雄 木田 光伸 小嶋 健生 小寺 隆弘
- 【枚方支部】** 稲田 増光 海老原智子 尾本 信行 杉 孝一 高木 康治 竹内 正 竹原 正和 中谷 廣一 橋本 光世 武 南井 恒治
- 【門真支部】** 大崎 正博 久保田金次郎
- 【大阪支部】** 石田 嘉男 石津 良行 石橋 明史 井筒 潮 今西 敦司 上田 吉昭 金田 光世 嶋田 薫 首藤 直樹 砂本 清 高岡 稔 中下 寛治 藤村 恭弘 山口 秀秋 弓手 宏亮 吉田 信昌 米満 信昌
- 【八尾支部】** 小林 昭一 杉井 卓尔 杉井 卓次 渡邊 海翁
- 【堺支部】** 東 俊夫 安藤 茂彦 池田 茂彦 池田真由子 井上 宗保 大谷富太郎 菊之井秀年 佐々木晴美 柴田 正吉 下村 芳寛 高松 慶暢 竹内 芳彦 忠岡 博 年神 秀行 中野 瑛文 中村 賢一 中谷 潤 橋本多恵美 土師 秀作 八文字正裕 本田 浩基
- 【泉大津支部】** 遠藤 孔人 大西 博己 阪 広久 藤原 一彦 山口 茂
- 【岸和田支部】** 蘆原 賢一 蘆原 賢一 清原 正治 坂口 和代 田口 誠 中川 恵子 藤原 博文 森下ゆかり
- 【泉佐野支部】** 坂本 博文 田中 洋
- 【舌海支部】** 根末 和夫 日根野谷精 昼馬 義宏 松浪 武久 南方 得男
- 【茨木支部】** 石井 賢一 伊月 圭子 今中 英雄 鷹 靖 榊山 京子 武田 信央 仲 猛夫 中澤 保恵 並川 洋子 藤井 洋行 本田 武士 松岡 久枝 宮口 太 宮田 義男
- 【吹田支部】** 東 秀夫 稲葉 英基 平山 直樹 前田 秀雄
- 【豊能支部】** 荒井 洋幸 衛藤 雄次 小池 秀昌 坂本 義郎 芝 宏 首藤 裕之 土橋 哲夫 西村 公宏 平山 高明 光成 創 三原 健吾 和田 浩孝
- 【上京支部】** 東 智之 大澤 哲夫 木下 昌之 近藤 明夫 鹿野 幸裕 中島 宣夫 松村 一郎 室谷 澄男 矢田 善久 山中 基司
- 【中京支部】** 芦田 勝博 西村 猛 福島 重典 和田 泰裕
- 【下京支部】** 木村 敏之 杉本 諒 竹中 康豊 富村 将之 中村 英生 橋本 清治 平瀬 聡 三方真理子 吉田 和之
- 【右京支部】** 岡本 理博 上原 洋平 河合 典之 岸本 郁男 達川甲太郎 中村 洋平 平野 烈 藤田 高広 船越 善博
- 【左京支部】** 原 謙介 二股 茂 山田 正克
- 【東山支部】** 作見 藏市 重田 公啓 中田 久弘 藤原 俊文 山崎 俊嗣 山元 直貴
- 【伏見支部】** 入江 洋 浦濱 勇 宅和 明彦 永田 清行 西山 幸一 前川 剛 御堂河内綾子 村田キヨ子 山口 有一 横山 文彦
- 【尼崎支部】** 岩泉 周治 唐澤 康雄 宮本 信一 森川 幸敏 若原 昭 西田 文明 山添 謙三 山井 嘉文
- 【舞鶴支部】** 上原 正夫 岡田 彰徳 炭谷 徹 林 文彦 山口 正
- 【柏原支部】** 足立 尚之
- 【洲本支部】** 國武 智恵 真野 耕治
- 【姫路支部】** 青木 員人 板倉 宏行 柿坂 雅哉 金川 弘 加納 寛 河本 勝英 北岡 昭 後藤加代子 後藤 信孝 清水 正治 坪田 昌彦 永尾 清貴 西垣 義弘 藤本 智宏 松岡 宸宏 山下 哲
- 【長田支部】** 高井 秀樹 福田 隆彦
- 【芦屋支部】** 垣見 芳正 蝉川 寛嗣 武村 弘 藤原 克彦 森本 康正 山口 竜義 吉田 智代
- 【明石支部】** 大野 博明 河合 正美 藤本 晃 船造 幸雄
- 【加古川支部】** 尾崎佳世子
- 【西宮支部】** 市川 晃 杉田 德行 林 光伸 原口 裕之 山本 喜雄
- 【宇治支部】** 今井 宏明 大高 友紀 小泉 彰孝 小泉 孝一 平松 正孝
- 【福知山支部】** 衣川 憲治 中井 正紀
- 【宮津支部】** 西田 文明 山添 謙三 山井 嘉文
- 【舞鶴支部】** 上原 正夫 岡田 彰徳 炭谷 徹 林 文彦 山口 正
- 【柏原支部】** 足立 尚之
- 【洲本支部】** 國武 智恵 真野 耕治
- 【姫路支部】** 青木 員人 板倉 宏行 柿坂 雅哉 金川 弘 加納 寛 河本 勝英 北岡 昭 後藤加代子 後藤 信孝 清水 正治 坪田 昌彦 永尾 清貴 西垣 義弘 藤本 智宏 松岡 宸宏 山下 哲
- 【三木支部】** 鷺見 英二
- 【西脇支部】** 園崎 仁
- 【社支部】** 黒石 淳司 西面 重一 多鹿 秀夫 檜原 一
- 【龍野支部】** 山口 竜義 馬場 智久
- 【相生支部】** 秋山 強 村山 実
- 【和山支部】** 人見 孝文
- 【奈良支部】** 今崎 善彦 岩本 洋二 奥村 伸彦 泉山 良一 北村 吉春 島田 明 高司 節生 岡橋 舞 武野 勝文 徳久亮太郎 中垣 安嗣 西口まゆり 藤本 英男 増井 隆彦 安岡智斗志
- 【葛城支部】** 近藤 洋 杉垣 輝樹 田中 俊男 棚田 敏正 辻井 賢博 中川憲二郎
- 【伊丹支部】** 泉 和子 伊田 憲司 今田 幸史 岡田 彰徳 炭谷 徹 林 文彦 山口 正
- 【柏原支部】** 足立 尚之
- 【洲本支部】** 國武 智恵 真野 耕治
- 【姫路支部】** 青木 員人 板倉 宏行 柿坂 雅哉 金川 弘 加納 寛 河本 勝英 北岡 昭 後藤加代子 後藤 信孝 清水 正治 坪田 昌彦 永尾 清貴 西垣 義弘 藤本 智宏 松岡 宸宏 山下 哲
- 【海南支部】** 山本 修司 中尾 彰 橋爪 康樹 宮尾 文也
- 【粉河支部】** 井村 徳治 花井 敏晋 宮井 計英
- 【湯浅支部】** 沼田 信也 秦 義幸
- 【御坊支部】** 植田 将史 川口 英信 佐竹 節夫
- 【田辺支部】** 溝端 昭雄
- 【大津支部】** 石原 英之 小倉 一訓 織戸 英信 金子 紀行 久保 直己 小畑 雅裕 武田 正徳 中西 知行 八幡 知行
- 【今津支部】** 河原田新市 小畑 雅人 小畑 雅巳 地村ちか子 地村 秀磨 丹治 健一 中澤賢二郎 戸次威左武 前田 寿栄
- 【草津支部】** 浅井 庄平 関 輝男 田中 正志 東郷 修 中丸 玲子 西村 宏 真神 農 増井 常夫 村井 正純
- 【水口支部】** 相川 良和 東 安宏
- 【近江八幡支部】** 大塚 浩司 山本 治三
- 【彦根支部】** 北川 実 北川 良治 西堀 勝美 三輪 和宏
- 【長浜支部】** 小高 寛三 本城 善男

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金
へのご協力をお願い」をご覧ください。

本州一早い海開き



和歌山県の白浜町では、コロナ禍で令和2年と令和3年は7月中の海開きとなっていましたが、令和5年は昨年に引き続きゴールデンウィーク期間中に海開きがおこなわれ、また、今年の3月18日からは特急くろしおが新設の大阪駅(地下ホーム)にも停車し、また高速道路も南紀白浜インターチェンジが当地の最寄りにあることから交通の便が良く、多くの人々が当地を訪れています。

さて、海開きされた白良浜というところは、一面真っ白な砂で砂浜の綺麗さを堪能できる場所としても有名なところですが、その砂浜はオーストラリアの砂を投入したことで維持されていることをご存じでしょうか。

白良浜の砂は波や風によって少しずつ流出しており、これを防ぐためブロックなどで波の勢いを弱めたり、風よけのネットを設置したりと対策を講じているのですが、それでも砂の流出を防ぐことは難しいのだそうです。

それでも、白い砂に青い海を求める観光客は多く、また、地元としても観光資源を守るため、とられた方法がオーストラリアの砂というわけです。

海開きをしたといっても、この時期海に入るには少し肌寒いかもかもしれませんが、当地は三段壁や千畳敷、円月島といった景勝地や温泉があり、またパンダがいるアドベンチャーワールドもありますから、時間を過ごす場所に困りません。例えば、白良浜を愛でた後に温泉というのも悪くないかも。

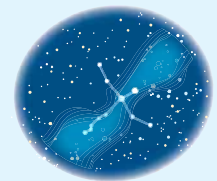
夏には白良浜のあちこちにカラフルなパラソルが咲き乱れ、より一段と南国ムードが漂います。
来たことない人は「いっぺん来ちゃってよー」
(和歌山支部 堀博充)

近税政本部のうごき

- 第2回後援会対策委員会(書面審議)(1月12日)
 - ・「税理士による国会議員等後援会の支援に関する規程」第9条(経過措置)の期限延長について
- 第3回推薦審査会(書面審議)(2月21日)
 - ・第20回統一地方選挙における推薦候補者の決定について
- 第4回推薦審査会(書面審議)(3月17日)
 - ・衆議院和歌山県第1区補欠選挙における推薦候補者の決定について
- 第5回推薦審査会(書面審議)(3月23日)
 - ・高槻市長選挙における推薦候補者の決定について
- 第5回広報委員会(4月5日)
 - ・機関紙第262号(新年号)の批評
 - ・機関紙第263号(5月号)の編集について
 - ・機関紙第264号の編集企画に関する件 他

「表紙」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 最優秀会長賞
(作=小倉さやか 上京支部)
「焦点」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 優秀賞
(作=東智之 上京支部)

銀河系



コミュニケーション

日本の優勝で幕を閉じたWBCで印象に残ったシーンがある。ダルビッシュ投手が自分の持っている技術を惜しげもなく若い選手に教えている。それを受け取る選手たちも必死になって自分のものにしようとし、実戦でその習得した技術を使って成果を出す光景を目の当たりにした。コミュニケーションの神髄を見たように思う。では、コミュニケーションとはどういうものか。人は、相手から発せられた情報を感知し、その情報が自分の期待したものであり、それによって自ら学習し、自分を変化させていく情報のやり取りをいう。これが押しつけのような一方通行になればハラスメントということになる。われわれ税理士もコミュニケーション能力を問われる場面に遭遇することは多々ある。クライアントとともに自らを変化させ、時代の流れに応じた進化をしなければならない。

(堺支部 大谷富太郎)

阪奈税協

組合員専用ページのご紹介

ホームページをご活用ください!!

阪奈税協

検索

※組合員専用ページをご利用いただくには、ホームページへの会員登録・ログインが必要です。(阪奈税協へ加入されている方のみ、ご登録いただけます。)

研修会申込・視聴・レジュメ ダウンロード

阪奈税協主催の研修会が「ビデオライブラリー」よりご視聴等いただけます。



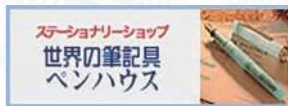
※受講登録は、近畿税理士会「研修受講管理システム」にてお願いいたします。

WEB書籍販売 (15%割引)



- 清文社・大蔵財務協会・税務研究会の書籍を販売
- 送料は出版社毎に一律350円
※各社10冊以上または16,500円(税込)以上のご購入でその出版社の送料無料

組合員価格での 家電・筆記具等の購入



その他のあっせん提携企業の情報もご覧いただけます。

各種資料等の 閲覧・請求サービス

広報誌・定款等の閲覧や、申請書のダウンロード、資料請求サービスなどがご利用いただけます。



お問い合わせ

TEL : 06-6941-6888 (阪奈税協事務局) Email : office@hanna-zeikyo.jp

共に助けあい、共に支えあう

～組合事業に参加・協力を～

保険事業・阪奈積立年金制度・共済制度・あっせん事業



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F) TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<https://www.hanna-zeikyo.jp>